



2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年7月10日

上場会社名 株式会社アズ企画設計 上場取引所 東
 コード番号 3490 URL <https://www.azplan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 俊人
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 小尾 誠 TEL 048-298-1720
 四半期報告書提出予定日 2020年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の業績（2020年3月1日～2020年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	1,245	△10.7	△85	—	△95	—	△68	—
2020年2月期第1四半期	1,394	△13.1	△74	—	△88	—	△89	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	△71.53	—
2020年2月期第1四半期	△94.53	—

(注) 2020年2月期第1四半期累計期間及び2021年2月期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第1四半期	7,512	1,428	19.0
2020年2月期	6,781	1,496	22.1

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 1,428百万円 2020年2月期 1,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2021年2月期の業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

新型コロナウイルスの感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の業績予想を開示しておりません。なお、今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期1Q	951,000株	2020年2月期	951,000株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	67株	2020年2月期	67株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期1Q	950,933株	2020年2月期1Q	950,955株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大に伴い、国内外で社会・経済活動が制限される事態となり、急速かつ大幅に悪化し極めて厳しい状況にあります。

当社の属する不動産業界におきましても、一昨年より続いている個人向け不動産融資に対する金融機関の慎重姿勢は継続しており、重ねて前述の新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの投資家にとっても、投資に対する慎重姿勢を誘引しております。

このような状況の下、当社は厳しい外部環境の中で、本年開設した横浜営業所や不動産売買仲介といった営業活動の拡大を図っております。

この結果、当第1四半期累計期間の業績として、売上高は1,245,074千円(前年同期比10.7%減)、営業損失は85,362千円(前年同四半期は営業損失74,369千円)、経常損失は95,459千円(前年同四半期は経常損失88,887千円)、四半期純損失は68,024千円(前年同四半期は四半期純損失89,890千円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(不動産販売事業)

不動産販売事業におきましては、主に中古物件を購入しリノベーションやリーシング(賃貸募集業務)を行い、付加価値を高めたうえで不動産投資家への販売を手掛けてまいりました。当第1四半期累計期間は、レジデンス1棟、区分店舗1件を売却いたしました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,032,897千円(前年同期比12.4%減)、セグメント利益は5,095千円(前年同四半期はセグメント損失35,400千円)となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、従来より安定的に収益を上げている貸しコンテナ、コインパーキング、事業用・居住用サブリース、東北での復興事業者向け宿泊施設としてのビジネスホテルの運営に加え、不動産販売事業において取得した販売用不動産賃料収入等の獲得にも努めてまいりました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は172,472千円(前年同期比5.1%減)、セグメント損失は34,928千円(前年同四半期はセグメント利益19,149千円)となりました。

(不動産管理事業)

不動産管理事業におきましては、既存顧客に対する管理サービスの向上に努めるとともに、安定収入を増やすべく、新たに販売した不動産の管理受託にも取り組んでまいりました。その結果、当第1四半期累計期間における売上高は39,703千円(前年同期比17.2%増)、セグメント利益は9,238千円(同11.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は6,185,739千円となり、前事業年度末に比べ708,256千円増加いたしました。これは主に、販売用不動産が985,450千円増加したものの、現金及び預金が218,804千円減少したことによるものであります。固定資産は1,326,712千円となり、前事業年度末に比べ22,515千円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産が29,122千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,512,451千円となり、前事業年度末に比べ730,772千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,640,843千円となり、前事業年度末に比べ373,141千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が437,672千円増加したことによるものであります。固定負債は4,443,001千円となり、前事業年度末に比べ425,676千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が536,914千円増加したものの、社債が84,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、6,083,844千円となり、前事業年度末に比べ798,817千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,428,607千円となり、前事業年度末に比べ68,045千円減少いたしました。これは主に、四半期純損失を68,024千円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は19.0%（前事業年度末は22.1%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大は、未だ終息が見通せない状況にあります。ウイルスの感染拡大が、当社の業績に与える影響に未確定要素が多く、適正かつ合理的な算定が困難なことから、2021年2月期の業績予想につきましては、開示しておりません。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,161,939	1,943,135
売掛金	31,125	38,445
販売用不動産	3,035,653	4,021,104
仕掛品	90	95
貯蔵品	1,231	2,042
その他	251,035	184,667
貸倒引当金	△3,593	△3,750
流動資産合計	5,477,482	6,185,739
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,370,288	1,372,743
減価償却累計額	△248,153	△262,982
建物(純額)	1,122,134	1,109,760
その他	124,104	125,504
減価償却累計額	△65,884	△68,716
その他(純額)	58,220	56,788
有形固定資産合計	1,180,354	1,166,549
無形固定資産	5,809	5,774
投資その他の資産		
その他	118,032	154,388
投資その他の資産合計	118,032	154,388
固定資産合計	1,304,196	1,326,712
資産合計	6,781,679	7,512,451

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第1四半期会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,271	13,338
短期借入金	299,288	736,960
1年内返済予定の長期借入金	474,010	401,031
未払法人税等	2,358	2,999
賞与引当金	16,741	33,482
株主優待引当金	2,971	1,222
その他	430,060	451,808
流動負債合計	1,267,701	1,640,843
固定負債		
社債	524,500	440,500
長期借入金	3,338,290	3,875,204
資産除去債務	55,881	55,964
その他	98,653	71,332
固定負債合計	4,017,324	4,443,001
負債合計	5,285,026	6,083,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	170,608	170,608
資本剰余金	329,328	329,328
利益剰余金	996,520	928,496
自己株式	△207	△207
株主資本合計	1,496,251	1,428,227
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	401	380
評価・換算差額等合計	401	380
純資産合計	1,496,652	1,428,607
負債純資産合計	6,781,679	7,512,451

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	1,394,359	1,245,074
売上原価	1,273,518	1,143,602
売上総利益	120,840	101,471
販売費及び一般管理費	195,210	186,834
営業損失(△)	△74,369	△85,362
営業外収益		
受取利息	10	1
受取配当金	24	30
受取手数料	334	373
補助金収入	—	430
その他	1,726	824
営業外収益合計	2,096	1,661
営業外費用		
支払利息	9,938	9,680
社債利息	1,127	993
社債発行費	4,463	—
その他	1,085	1,084
営業外費用合計	16,614	11,758
経常損失(△)	△88,887	△95,459
税引前四半期純損失(△)	△88,887	△95,459
法人税、住民税及び事業税	449	1,677
法人税等調整額	552	△29,112
法人税等合計	1,002	△27,435
四半期純損失(△)	△89,890	△68,024

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社では、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りにおいて、四半期財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症による売上等への影響が2020年9月以降緩やかに回復するものと仮定しております。

なお、前期末の仮定について重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	不動産販売事 業	不動産賃貸事 業	不動産管理事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,178,799	181,691	33,868	1,394,359	—	1,394,359
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,178,799	181,691	33,868	1,394,359	—	1,394,359
セグメント利益又は損失(△)	△35,400	19,149	10,469	△5,781	△68,588	△74,369

(注) 1. セグメント利益の調整額△68,588千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	不動産販売事 業	不動産賃貸事 業	不動産管理事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,032,897	172,472	39,703	1,245,074	—	1,245,074
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,032,897	172,472	39,703	1,245,074	—	1,245,074
セグメント利益又は損失(△)	5,095	△34,928	9,238	△20,594	△64,768	△85,362

(注) 1. セグメント利益の調整額△64,768千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。